

**ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問
(期間：平成24年12月26日～平成25年1月16日)**

原発の安全性についての意見 1

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 岡山県

○ご意見の内容:

(1)原発設置について: そもそも基準で「重大な事故の発生を仮定しても、周辺の公衆に放射線障害を与えないこと」が前提ですが、すでにこれは破綻しています。それとも微量なら放射性物質がばら撒かれてもいいと仰るのでしょうか。だいたいにして「放射線」の基準があっても「放射性物質」の基準がないのは何故でしょうか。そして新基準で「全ての建物・構築物」について「設計荷重に応じた十分な支持性能を持つ地盤」に設置することになっていますが、未だ重要施設だけにこだわり、さらに地盤の安定を欠く活断層・地すべりはどちらも立地要件に満たないはずですが、なぜ「活断層」か「地すべり」かでもめるのでしょうか。また断層がいつ出来たかも重要なはずですが、そのあたりの議論は検証されているのでしょうか。また、規制委員会も大事ですが、原発推進組織内でも「監査」役の組織が必要かと考えます。原発の一番の問題は物理的なものではなく「運用」する側の「人」の問題です。運用する「人」の意識が変わらなければ、いずれもっと大きな事故を起こします。自分の手に、行動に、全ての命がかかっていると思えなければ、原発に携わることはできないと考えます。

原発の安全性についての意見 2

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 岡山県

○ご意見の内容:

(2)安全か危険か: 今また危険性ではなく「安全性」での評価になり、基準を充たせば安全という「安全神話」に逆行しています。あくまで「どのような危険があるか、それに対する対策をどうするか」がリスクマネジメントです。「ここまでは安全」という判断は安全を前提とした「安全な運用手順」です。人が関わる物は、どんなに安全を確認しても必ず一定確率でミスが生じます。さらに不慮の事故、災害、テロなど、各種リスクに耐えられるように設計するのは莫大な予算が必要になり、現実的ではありません。事故が起きた場合の対応や予算などもシミュレーションするのが当然と考えますが、事故レベルに応じての具体的な対応・行動等はお考えでしょうか。自然災害(地震・津波・噴火・隕石 etc)、事故(内部での多重ミス・事故、航空機事故、敷地内での車両事故 etc)テロ(場合によっては内部職員が自暴自棄になって多くの国民を巻き込むような無理心中、戦争も含む)などでチェルノブイリ級(炉心の飛散)の事故が起きた場合の具体的な対策もしっかり計画を立て、公表していただきたいです。それが危機管理ですから。

原発の安全性についての意見 3

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 岡山県

○ご意見の内容:

(3)稼働の是非:感情論、また経済性など尺の違う判断基準での「原発反対・賛成」は危機管理から逸脱します。経済的に必要なのは「電力」であり、その方法論は別問題です。電力需給と原発事故リスクは異質なものです。同一線上で考えるのであれば「安全を確保する方法と対策・予算」「危険性とトラブル時の対応方法・予備費」「廃棄物処理とプルトニウムの管理・対応策」「廃棄物処理に関わる技術研究」「税金補填をしない状態で考えた電力需給に関わる経済性」「過去数千万年期間での環境の推移と原因調査・温暖化問題」等も並列で考える必要があるでしょう。地球や宇宙の時間軸では数十万年～数百万年程度の変動は微小な変化でしかなく、偏向的なデータによる温暖化の分析は「似非科学」に思えます。さらに原子力実験や原発稼働が盛んに行われ始めた時期からの気温上昇が大きいことも無視されているのは何故でしょうか。火力よりはるかに莫大な熱量を水冷し、その熱エネルギーは拡散するとともに水温上昇・気化を促します。当然ご存知かとは思いますが、水蒸気の温暖化作用はCO₂の比ではありません。量的にも雲泥の差です。

原発の安全性についての意見 4

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 岡山県

○ご意見の内容:

(4)電気料金: 原発は地域へのばら撒きも含めて多額の税金が使われていますが、事故時の賠償などは電力会社単体では不可能なので完全に国営企業化してはいかがでしょうか。そうすることで電力会社は原発に関わる費用負担がなくなります。燃料費は原油と天然ガスの価格連動を解消するか、新規民間発電会社は個々(もしくは数社で共同)の仕入れによって価格を下げることは可能でしょう。電気料金として原発事故処理負担させられるのは、事故を起こした相手にお金をあげるようなもので納得いたしかねます。「原発事故の一端は国策の責任」として税金で国が対処すべきかと考えます。東電は破綻処理し、今後原発を稼働するのであれば国営の原発電力会社として既存の電力会社からは切り離し、今後の事故に対しても全ての責任を国が取べきです。もちろん責任は国という組織だけでなく、現在以降の議員全て(本来であれば原発政策を進めてきた今までの議員全て)が多くの資産を売却して賠償に補填するなどの対応(いわゆる投資に対しての損失)も必要かと考えます。その上で議員を選んだ国民の負担として税金で賠償するのが妥当でしょう。その程度の責任はあると考えます。

原発の安全性についての意見 5

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 岡山県

○ご意見の内容:

(5)環境省と原子力防災担当を一人でされる意味:環境的にも原子力災害対応的にも「原発はない方がいい」はずですが、早々に「原発ゼロは現実的でない」と発言するとは、石原氏はどういうお考えで大臣の任に就かれたのでしょうか。ウラン採掘にあたっては、廃棄物処理についても、今の科学技術と環境的に考えれば、地上に原発を設置・運用することは生物にとっての脅威ではないでしょうか。人の求める物は「エネルギー」であり、その方法論は環境とはまた別に考えるべきです。原発推進ありきで原子力災害担当に就かれては、また「安全神話」の復活になってしまいます。あくまでも「原子力災害」担当として冷静に評価していただきたいと考えます。物を大事に利用する意味でのエコロジーは確かに「日本人の心」的にも大事ですが、必要以上のCO₂排出規制は経済力の低下を促すだけです。そもそも化石燃料自体元は生物なのに、バイオ燃料はエコで化石燃料はエコじゃないなど、どう考えても矛盾しています。むしろメタンハイドレートがそのまま気化してメタンになるより、燃焼させてCO₂にした方が温暖化効果も薄れるので、積極的に研究を進めることを望みます。

原発新設について

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 福島県

○ご意見の内容:

福島県在住の(削除)と申します。

安倍首相が原発新設を容認するという報道を見ました。

原発新設の議論は、核廃棄物の最終処分の道が開けてから始めても良いのではないのでしょうか？

フクイチの事故で放射性物質が如何に危険なものであるかという認識が広く国民に浸透しています。

その管理方法の確立を次政権、次世代に先送りして、原発を増やすことはもはや許されない状況であると私は思います。

原発新設を容認するのは、まず核廃棄物の最終処分の方針を明確に国民に示してからにして頂きたいです。

※<個人情報の保護その他について>の考え方に基づき一部を伏せさせていただきました。

原発増設?

○年 齢 : 31歳～35歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 静岡県

○ご意見の内容:

選挙前原発増やす党はなかったはずですけどどこからこういう話になったのか疑問です。

古い原発だから失敗したとかどこかに書いてありましたが、その後始末さえ半減期待ちなんじゃないんですか?

新しく作るのは勝手だと思いますが、負の財産をきれいにしてからにした方がいいと思いますよ。

誰も思い付かなかった方法を模索するのが仕事のあなた方が他の誰かがやってもやりそうな事やるんだったら次回から投票しに行きません。地震情報が毎日更新されてるのに原発新設しようとするのは経済目線で物事考え過ぎだと思うのもう一回考え直してもらえませんか?正しい条件設定をすると正しい答えが出るものです。

都心部の地震も危険視されてますけど何かあっても大丈夫ですね?

なんでまた原発造るんですか、あなたたちは阿呆ですか？__ ???

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 東京都

○ご質問の内容:

こんにちは。

なんで安倍は、「また原発造る。絶対に安全で全く今までとは違うものだから」なんてキチガイ発言したんですか????

http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E5%AE%89%E5%80%8D%20%E5%8E%9F%E7%99%BA%E6%96%B0%E8%A8%AD&sp=1&tid=top_ga1_sa&ei=UTF-8&fr=top_ga1_sa&SpellState=

激怒していますよ、圧倒的多数派は。
ここのコメント読んでみなさい。

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20130106-00000016-fminpo-l07>

本気で原発新設するつもり????

だったら、なんで東京に造らないの????

そんなにも安全というならば、東京に造れよ。

また事故起きたら、「想定外でした」????

どうするつもりなんですか????

もうひとつ忘れてた。

<http://p.tl/qQ00>

電気の発電方法の提案

○年 齢 : 21歳～25歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 学生

○都道府県名: 東京都

○ご意見の内容:

電力を発電する方法の提案です。
大型の人力での電力発電施設を作成するのはいかがでしょうか。
現在、無職の方、ニート、フリーターといった方が大勢います。
そのような方々を集めて、発電施設で人の労力を使って発電するという
のは
どうでしょうか。
体力的な問題を考えて、導入時にはパートのように
1人4時間の仕事ということにして
時間帯指定をして発電をさせるのです。
働き過ぎないように、定期的な健康診断や
自己申告による有給休暇を設置します。
初めは、多くの労力が必要とされるので、
公的に労災を適応して労働者を募集すれば
人員は集まりやすいと考えます。

この提案はいかがでしょうか。
利点としては、雇用の算出、不足している電力の供給があげられます。
もし宜しければ、審議いただければ幸いです。
よろしくお願い致します。

原発事故の3つの問題

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : フリーター

○都道府県名 : 北海道

○ご意見の内容:

福島第一原発事故には、大きく分けて3つの問題があると考えております。これらの改善なくして、再稼動は国民の理解が得られにくいと思います。

1 技術、設計の問題

メルtdownにより格納容器の底が抜けても大丈夫なように水の受け皿をつくったり、水素爆発で外壁破損が生じないように、ベント機能の拡張や複数化が必要であったり、非常用電源の確実性が想定不足であったりなど、技術や設計で改善が出来ることは、次期原発の建設や既存の原発の設備投資に反映すべきであり、その検証が必要に思います。その基本となる安全基準を、国際原子力機関(IAEA)に報告し、日本の事故教訓として、今後の世界で建設される原発の安全基準となるような働きかけが必要に思います。

原発事故の3つの問題2

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : フリーター

○都道府県名 : 北海道

○ご意見の内容:

2 組織の問題

原子力部といった部署が電力会社にはありますが、その部署と対等な部署として、安全安心部が必要であると思います。内部関係者は、非常用電源の喪失は、津波で起こりうる事は知っておりました。それが素直に改善されなかった点を反省すべきですし、それは電力会社のような巨大組織であるなら、起こりうる弊害であると思います。電力会社の組織改革を促す必要があると思います。

3 避難、運用の問題

住民の避難と行政、電力会社の連携が、一つの避難訓練として行われなかった事を反省し、例えば、年一回、原子力の日10月26日に実施すべきに思います。特に、住民の避難の際には、目に見えない放射線の拡散予測の情報は大切であると思います。文部科学省の放射性物質拡散予測システムのSPEEDIが有効に用いられなかった点は、今後の反省とする必要がありますが、SPEEDIの価値は評価すべきに思います。避難訓練の時からSPEEDI用いるなど、年一回の大規模な避難訓練が必要に思います。

原発稼働の是非について

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : フリーター

○都道府県名 : 北海道

○ご意見の内容:

原発停止の状況で、稼働是非の議論による時間経過は、日本にとって不利になると思います。原発を動かして、どこが危険性が高いから止めましょうではなく、原発を止めていて、どれが安全だから動かそうでは、まずい状況だと思いました。

つまり、これから原発の事故補償、設備投資、廃炉など、多額のお金が必要なのに、燃料の輸入による貿易赤字で、これらの費用の捻出も滞りかねないでは、時間経過による損得の算段が良くないと思います。

まずは、安全な原発を次々動かし、家庭や企業を圧迫する電気料金の値上げは撤回に持っていく必要があると思います。稼働にはたしか一ヶ月くらいかかるはずだから、少なくとも電気使用量が多くなる夏までには、安全な原発の優先的稼働と平行して、危険性の高い原発や廃炉にすべき原発を取捨選択し、少しでもエネルギー費用を抑えるようにしてから、その余剰金でエネルギー資源に依らない自然エネルギーの導入を急ぐのが良いと思いました。

原発の新設、再稼働について《反対意見》

○年 齢 : 26歳～30歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 主婦

○都道府県名: 埼玉県

○ご意見の内容:

・子供が50ベクレルのセシウム137に内部被曝すると、
心臓の全細胞30億個のうち1%の3千万個を失うと、欧州放射線リスク
委員会の記事にて見ました。

既に昨年、南相馬市の女兒に、50ベクレルの内部被曝が確認されたとの
ニュースがありました。
近い将来、不整脈や心臓麻痺で、福島の子供たちが苦しむことにな
るのではないのでしょうか。

・「放射能汚染下における日本への14の提言」ヘレン・カルディコット医
学博士 の記事には、
「チェルノブイリでの甲状腺癌は、事故後3～4年経たない内に出現し始
めた(結果、9万2千人が甲状腺癌)。
しかし福島では、事故後1年で、3万8千人の子供の内、36%に甲状腺
のう胞か結節が見つかった。
これは、被曝量が尋常ではなく、
さらなる多種多様の癌の発症を予測させるに十分な前触れである。」

と、福島の人々がこれから直面していくであろう現実が書かれていま
した。

どうか、目の前の子どもの、
これから何世代も続いていくであろう私達の子孫の不幸を、少しでも減ら
すことを、意の一番にお考えください。

(事故再考7)福島第一 1号機のベントと再臨界について(1)

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 滋賀県

○ご意見の内容:

事故後 1 年半以上経った 2012 年 9 月 21 日に、福島県は原発周辺の事故時の空間線量データを公表した。驚いたことに、第一原発の北西 5.6km の双葉町上羽鳥では 1 号機爆発前に、1590 マイクログレイ毎時 (1.59mSv/h) という高い値が記録されていた。これについて、昨年 11 月 13 日に投稿した文章では、この 3 月 12 日 15 時のデータは、15 時台の 1 時間平均の値であり、1 号機の爆発(15 時 36 分)より前かどうか明確ではない、としていた。しかし、1 時間値の他、10 分値と 2 分値が記録されている大野局のデータから推定すると、15 時の 1 時間値は 15:00 までの 1 時間、即ち 14 時台の平均でると考えられる。従って、1 号機爆発前の 14 時頃に始まったベントによって高濃度の放射能が放出されたことは間違いない。

ここで、思い出されるのが異常な高線量が 1 号機のベント配管ラインで見つかったことである。2011 年 7 月 31 日と 8 月 1 日に 1・2 号機排気筒底部の非常用ガス処理系配管接合部付近の 2 箇所です 10Sv/h を超える高線量が検出された(8 月 2 日東電公表)。

(事故再考7)福島第一1号機のベントと再臨界について(2)

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名 : 滋賀県

○ご意見の内容:

異常な高線量は、2011年8月2日にもタービン建屋2階の非常用ガス処理系トレイン室入口付近で5Sv/h以上の線量が測定されている(8月3日東電公表)。この場所は、タービン建屋から入室できるようになっているらしいが、場所的には原子炉建屋の東の端の部分に位置する。ベントラインは、非常用ガス処理系(SGTS)のフィルターをバイパスするように配管され、おそらくこの部屋の中の南側で合流して排気筒に繋がっていると思われる。ベントによる高線量蒸気の一部がSGTSを逆流したと考えられる。これより前の5月20日に、ガンマ・カメラにより、1階南東部上部のダクトに高線量が認められている(5月22日東電公表)。このダクトはボコボコに変形している。あのSGTSに繋がっており、ベント逆流の衝撃で変形したと思われる。

また、6月3日には、原子炉建屋1階南東部の配管貫通部付近で湯気が立ち上り、最大4Sv/hの高線量が測定された(6月4日東電公表)。これは地階の圧力抑制室からの配管で、湯気もそこからのものであるとされた。ベント配管との説明は無かったが、位置的に明らかにベント配管であると思われる。

(事故再考7)福島第一1号機のベントと再臨界について(3)

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 滋賀県

○ご意見の内容:

1号機の圧力抑制室ベントラインが異常な高濃度の放射能に汚染されていることは明らかであると考えられる。

原子炉や圧力容器の蒸気はドーナツ状の圧力抑制プールの水に通され、冷却・凝縮される。同時に放射能をプールの水に溶かすのでフィルター役割も担っており、ベントで放出される放射能は100分の1程度に低減されるはずである。これを専門用語ではスクラビング効果と言うらしい。この効果を期待して、格納容器ベント(ドライ・ベント)ではなく圧力抑制室ベントを選択したはずである。なのに、このような異常な高線量であるのはなぜか?なお、1号機爆発の時にコンプレッサーが停止してベント弁を開ける操作が止まってから後、1号機のベントは行われていないとされるので、爆発後にベントラインが異常に汚染されることは考えにくい。

(事故再考7)福島第一1号機のベントと再臨界について(4)

○年齢 : 56歳～60歳

○性別 : 男性

○職業 : 無職

○都道府県名 : 滋賀県

○ご意見の内容:

3月12日未明、圧力容器が何らかの原因で減圧し、格納容器と圧力抑制プールの圧力が設計圧力を超える異常事態となった。この時のデータは、格納容器と圧力抑制プールの圧力が殆ど等しく、圧力差がゼロに近かったことを示す。圧力抑制プールに水があれば、格納容器からの蒸気を凝縮して減圧するので、両者には圧力差が生じるはずである。従って、すでにプールの水は蒸発して無くなっていた可能性が高い。

東電の報告書によると、1号機に給水されなかった時間帯の放射崩壊熱量は約930GJである。一方、1号機圧力抑制プールの水量は 1750m^3 であり、これを全部蒸発させるためには、ざっと見積もっても3500GJ以上必要である。プールから水が無くなる事態は、崩壊熱だけでは説明できない。

再臨界による強烈な熱の発生を疑わざるを得ない。制御棒が脱落し、再臨界が起こったと考えるのが妥当と思われる。

1号機原子炉建屋の汚染水の水位変動が異常に大きいことは以前に指摘した。再臨界によりチャイナシンドロームとなり、建屋の底が抜けている可能性が高い。

(事故再考7)福島第一1号機のベントと再臨界について(5)

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 滋賀県

○ご意見の内容:

双葉町上羽鳥のモニタリング・ポストのデータは、データ回収から1年以上も経ってから公表された。各事故調の報告書が出そろうまで押さえていたと疑われても仕方ない。実際、どの事故調も、このデータを知らなかったと思われる。このことは、以前の投稿にも記したが、非常に重要な問題なので再度指摘したい。完全な調査権・独立性・能力を持つ第三者機関において、事故調査を再度実施していただきたい。

なお、福島原発周辺のモニタリングポスト・データについて1時間データ、しかもグラフだけしか公表されていないことに疑問を持ち、以前そのことを指摘したが、10月になって表形式のデータが公表された。また、明確な説明はなされていないが、おそらく機器が旧式なのか、1時間データしか記録できないようである。

(付記)H24.11.28 受付の「ご意見」は、当投稿者が投稿したものではないことを付記させていただきます。